

令和7年度 京都府立大学 一般選抜試験（後期日程）
入学者選抜学力検査 「国語」（日本・中国化学科）

○解答例

一

問一 ①揮 ②効 ③誇 ④護 ⑤敏 ⑥くわだ（て） ⑦緻 ⑧凄

問二 一九世紀以降、市民社会と芸術家とがその重視する価値を異にした結果、芸術（家）が市民社会から離れてしまった現象。

問三 ある芸術ジャンルが、他の芸術ジャンルと共通する要素を省き、そのジャンル固有の要素のみで成り立とうと、自らを純化すること。

問四 モンドリアンが絵画を純化した果てに描いたのは、非常に単純な、絵画らしくない絵画であったが、その結論をいくら真似したところで、モンドリアンの挑戦の過程を体験することはできないから。

二

問一 b

問二

（ア）やはり廬元坊が千代女の句の出来栄えを認めなかったことは、最初の場合と同様であった。

（イ）廬元坊は千代女の俳諧の才能を見抜き、俳諧修行の意志が本物かどうかを試すために何度も句の作り直しを命じた。

問三

(1) 夏の短夜の夜明けを告げるホトトギスではないが、ホトトギスの題に苦吟してあつという間に夜が明けてしまった。

(2) 千代女が向上心をもって粘り強く句作りに専念している姿勢がこの句に表れており、その俳諧修練の意志を高く評価したから。

問四 食べて見なければ甘いか渋いかもわからない柿の初物に夫婦の初夜を例え、これからの夫婦生活が甘いか渋いか、どうなるものかと諧謔(ユーモア)を込めて詠んでいることがこの句の俳諧としての面白さである。

三

問一 ① すなわち ② おかして ③ いまだいくばくならずして ④ かえって ⑤ これによりて

問二 引き留められそうになれば留まらず、洗わされそうになれば洗わず、一石(十斗)の米を搗いたら三斗の米を得て、明(なる者)に遇えば生きながらえるが、暗(なる者)に遇えば死ぬ(という予言)。

問三 ただ孝先の言ったことが結局当たらなかったただけなのだ。

問四 すでにしてはたしてしかり

問五 一石の米を搗いて三斗の精米を得るということは、七斗の糠が出るということになり、費孝先の予言は「糠が七割」、つまり「康七」という人物を指し示していたから。